

2018年11月26日

報道関係各位

日本における IPv6 普及率について
～固定アクセス網 50%超、携帯電話も 17%に達する～

IPv6 社会実装推進タスクフォース（旧 IPv4 アドレス枯渇対応タスクフォース、代表：江崎浩 IPv6 普及・高度化推進協議会専務理事／東京大学）のアクセス網ワーキンググループと IPv6 普及・高度化推進協議会（会長：慶應義塾大学村井純教授）が東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社をはじめとする通信事業者、インターネットサービスプロバイダ各社と協力して計測している、フレッツ光ネクストの IPv6 普及率が、2018年6月時点で50%を超え、2018年9月の計測時点で55%となりました。

また、2016年下期から順次対応が進められている株式会社NTTドコモ、株式会社KDDI、ソフトバンク株式会社の携帯電話事業者三社のスマートフォンにおける IPv6 対応率も2018年7月1日時点で17.1%に達しているとのこと。

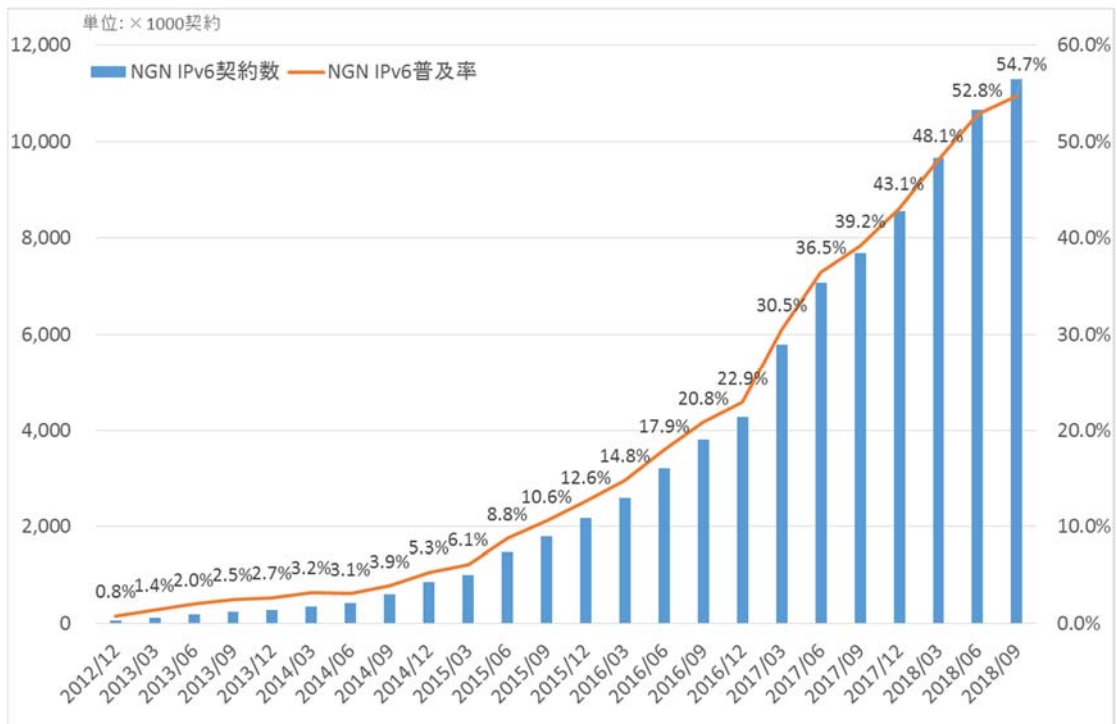
このように接続サービスにおける IPv6 対応が着実に進んでおり、今後はコンテンツサービスにおける対応の進展が期待されている中、株式会社 AbemaTV が提供するインターネットテレビ「AbemaTV」が2018年12月から2019年1月を目途に IPv6 による動画配信を開始する予定とのこと。

日本におけるインターネット基盤が、これまで主流であった IPv4 から IPv6 へ大きくシフトしている状況にあると言えますが、一方で世界に目を向けるとインドにおける IPv6 の普及が大きく拡大しており、全世界の IPv6 ユーザの半数近くをインドが占めるという調査結果が出ています。

日本でも今後は、固定系、携帯系に続き、公衆無線 LAN の IPv6 対応についても本格的な議論が開始される予定です。IPv6 社会実装推進タスクフォースでは、日本国内で誰もが IPv6 を基調としたインターネットを利用して、ビジネスやサービス、アプリケーションが展開されていくことを目指して、引き続き活動を進めていきます。

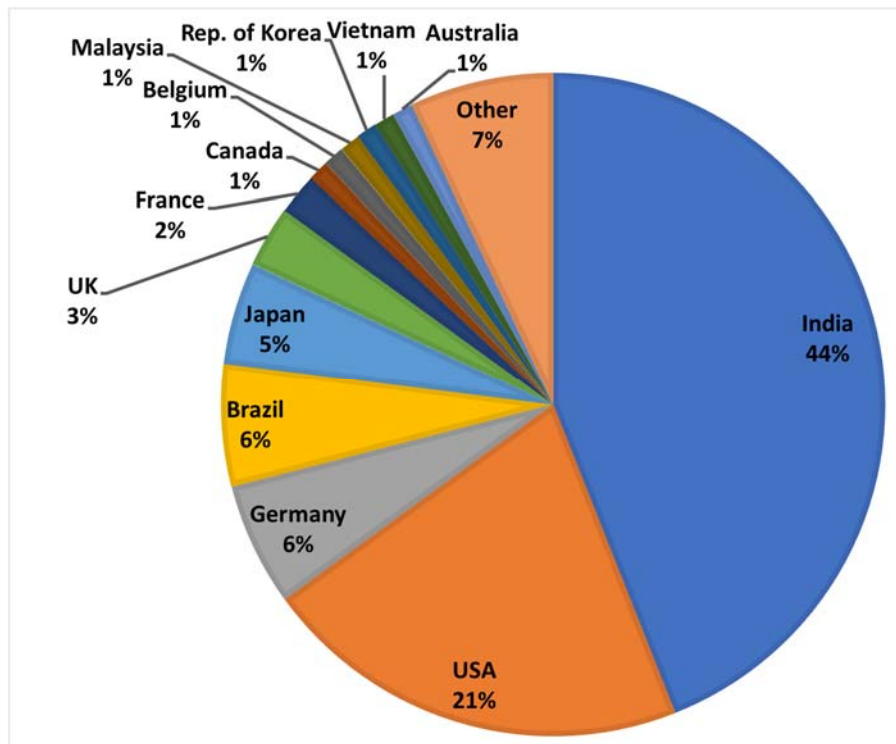
本件に関するお問合せ先

IIPv6 社会実装推進タスクフォース 広報ワーキンググループ
<mailto:info@kokatsu.jp>



図表 1: フレッツ光ネクスト対応率推移 (IPv6 普及・高度化推進協議会提供データより)

http://v6pc.jp/jp/spread/ipv6spread_03.phtml



図表 2: Percentages of total IPv6 user population in countries with high levels of deployment

(Internet Society web サイトより)

<https://www.internetsociety.org/resources/2018/state-of-ipv6-deployment-2018/>

Rank	ISP	Country	IPv6 Users (estimated)
1	Reliance Jio	IN	237,600,764
2	Comcast	US	36,114,435
3	AT&T	US	22,305,974
4	Vodafone India	IN	18,368,165
5	Verizon Wireless	US	15,422,684
6	Idea Cellular	IN	14,681,694
7	Deutsche Telekom AG	DE	14,261,836
8	T-Mobile USA	US	14,057,105
9	KDDI Corporation	JP	11,871,952
10	Sky Broadband	GB	11,829,610
11	Claro	BR	10,235,805
12	Softbank	JP	8,613,145
13	Orange	FR	7,924,119
14	AT&T Wireless	US	7,694,881
15	Cox Communications	US	6,316,462
16	Kabel Deutschland	DE	5,835,590
17	SK Telecom	KR	5,764,073
18	NTT Communications	JP	5,596,206

図表 3:世界の ISP 別 IPv6 ユーザ数ランク (Internet Society web サイトより)

<https://www.internetsociety.org/resources/2018/state-of-ipv6-deployment-2018/>